

ご存知でしたか。

世界有数の規模を誇り、画期的な自然保護協定であるカナダ寒帯林協定の運営委員長に、環境活動家として知られるMonte Hummel氏の就任が決まりました。同協定が完全実施されると、製材工場の操業に必要な原木供給量を確保しながら、カナダの広大な寒帯林の主要部分を保全し、絶滅が危惧されているウッドランドカリーブも守ることができます。詳細は2ページをご覧ください。

カナダの 林産業は今

2012年1月

寒帯林協定
陣営固まる

カナダ林産品を
アピール

革新的技術

日本の復興を支援

カナダ連邦政府とブリティッシュ・コロンビア州政府は、各200万ドルをカナダ東北復興支援事業に拠出。カナダ林産業界も50万ドルを寄付しています。このほかカナダの一般市民や企業から寄せられた現金や現物の寄付は、すでに4000万ドルに上っています。

「日本との貿易関係は優に100年を超えており、私たちはこの強い絆を非常に大切に思っています。お役に立てれば、こんなに嬉しいことはありません」と話すのはスティーブ・トムソンBC州森林土地天然資源相。日本ではカナダウッド・ジャパンが行政当局や現地の建築主事の協力を得て、復興プロジェクト選考のための企画募集を準備しています。

林産業からはエインズワース・エンジニアード、アーデュー・フォレスト・プロダクツ、AP Group、カナディアン・フォレスト・プロダクツ、ハンプトン・アフィリエイツ、インターナショナル・フォレスト・プロダクツ、シンクラー・グループ・フォレスト・プロダクツ、タイガ・ビルディング・プロダクツ、Teal Jones Group、ティンバーウエスト・フォレスト・コーポレーション、ウエスタン・フォレスト・プロダクツ、そしてキャリアー・ランバー、ダンクリー・ランバー、ミラー・ウエスタン・フォレスト・プロダクツ、サンダンス・フォレスト・インダストリーズを代表するインターレックス・フォレスト・プロダクツの各社が義援金を寄せました。



ご存知でしたか。

カナダ林産品の輸出市場として、**もっとも著しい成長**を遂げているのが中国です。対中輸出高は、**2001年の3200万ドルから2010年の8億3400万ドルへと**、実に26倍の伸びを見せています。

グリーン経済のホープ

FPACのアプリム・ラザール会長兼CEOが11月、アジア太平洋林業週間に寄せ、東京で講演し、林産業は世界経済のグリーン化に大きく貢献できる可能性があること述べました。

ラザール会長は、中国やインドといった新興国における所得水準の上昇に伴い、世界的に資源の需要が増していることに触れ、有限資源に代えて、環境パフォーマンスで著しい向上を遂げてきたカナダのような国が提供する再生可能な林産品を使用していくことが解決のカギのひとつと述べました。

「バイオエネルギー、バイオケミカル、ファイバーコンポジットといった新製品にも、製材品、紙、梱包材などの従来品にも、ビジネスチャンスが広がっている。林産業は明確なビジョンを策定して、グリーン経済という旗印の下で革新的な研究パートナーシップを形成し、この大きな社会問題にどう対処できるかを示す必要があります」。ラザール会長の講演のビデオは <http://www.fpac.ca/index.php/en/speeches/> をご覧ください。

寒帯林協定の陣営固まる

林業史上革命的ともいえるカナダ寒帯林協定の運営委員長に高名な環境活動家のMonte Hummel氏が任命され、同時に初の専従専務理事としてAndrew Bovan氏が就任しました。

同協定は9環境団体とカナダ林産品協会(FPAC)に所属する林産企業21社との間で結ばれたもので、2010年5月に調印されました。カナダ寒帯林の主要地域を守り、絶滅危惧種であるウッドランドカリブーを保護するとともに、林業に依存する地域社会のために健全な事業を継続していかうとの願いからです。

Hummel氏は林学修士であり、世界自然保護基金(WWF)で30年近くの実績があり、その当時から寒帯林の保全を専門のひとつとしていました。アプリム・ラザールFPAC会長兼CEOは「その知見と経験を歓迎したい。林産業と環境団体とのパートナーシップのパイオニアかつ革新者として、長年に渡って業界でも高く評価されている人物」と歓迎しています。

Bevan氏の前職はグリーン経済シンクタンク「Sustainable Prosperity」の専務理事。グリーンピースカナダのRichard Brooks森林キャンペーンコーディネータは、「私たちはこの1年、環境団体と林産業のパートナーシップである寒帯林協定の設定した目標を達成するため、昼夜なく働いてきました」として、Bevan氏のような実力者の就任を「この画期的な協定の実施を促進してくれる」ものとして評価しています。

日加林産品貿易をたどる 日本語冊子を新刊

カナダ林産業の発展の一部として日加貿易の長い歴史をたどった冊子が発行されました。

カナダウッドグループのショーン・ローラ日本ディレクターは「カナダからの高品質の林産品の対日輸出が定着したのは1924年から。1923年の関東大震災で倒壊した住宅の再建に、カナダ産ダグラスファーとウエスタンレッドシダーが使われたのです」と説明。「1970年には北米から木造壁柱組工法が紹介され、木造の人氣がさらに高まりました」。新刊冊子はカナダウッド・ジャパンとカナダ林産品協会、ヒル・アンド・ノウルトンが作成したものです。

カナダは日本にとって、最大の輸入材サプライヤです。厳しい法規制や第三者認証によって責任ある森林管理から生産されていることが保証された、環境的に優れた選択肢である製材品を提供できることがその背景にあります。

カナダ産製材品が日本の様々な建築に用いられ、人氣を博している多くの理由をご説明する新刊を、日本語のfeel-goodウェブサイト(www.feel-good.ca/index.php/jp/)もしくはhttp://feel-good.ca/library/publications-legal-and-sustainable/CanadaWood_May_31.pdfにて、ぜひご覧ください。

先住民族、ビジネス賞を受賞

カナダ林産品協会とカナダ全国の先住民を代表するAssmby for First Nationsの提供によるビジネスリーダーシップ賞が、Alexis Creekインディアン部族のPercy Guichon首長とBC州中央部の人里離れたChilcotin地域に位置するTsi Del Del Enterprisesに贈られました。その林産品事業の成功を讃えたものです。

トルコ・インダストリーズ社との共同出資企業であるTsi Del Delが、約30名を雇用。うち多くが先住民です。伐採量1m³あたり50セントが教育信託基金として積み立てられ、同部族の高等教育や職能/技術訓練の費用に充てられています。

中国で林産品をアピール

カナダのジョー・オリバー天然資源相は上海で木造タウンハウス金橋実証事業の視察を行い、木造建築に関するカナダの実績と知見をアピールしました。

同事業は上海に113戸のグリーンな3階建タウンハウスを建設。低カーボンで環境にやさしく、エネルギー効率の高い木造建築の特長を紹介するとともに、中国の炭素排出量削減を新規住宅事業において支援するために、カナダ政府が中国で展開している複数のプロジェクトのひとつです。

カナダ林産品協会のアブリム・ラザール会長兼CEOは、カナダ政府のアジアにおける木造建築の販促活動を歓迎。「とくに中国とインドといった成長著しい市場の開拓がカナダ林産品の将来のカギであることに、疑問の余地はありません。今後の成功のためには、こうした形の政府支援が不可欠です」と述べています。

カナダウッド輸出プログラムが、カナダウッドの中国事務所を通じて現地のニーズに応じた木造建築の提供を支援。カナダウッド輸出プログラムは2002年に発足したもので、欧州、日本、中国、韓国といった新旧の海外市場向けに、カナダの林産品メーカーが市場を多角化し、輸出機会を拡大する事業活動を助成しています。



写真提供: FPイノベーションズ

BC州使節団 貿易関係を強化 BC州とアジア市場の関係を強化するとともに新たな絆を築くため、11月初旬にBC州アジア雇用貿易使節団が派遣され、林産企業65社を含む150以上の企業団体が参加しました。使節団の訪中期間中にオープンした河北省の廊坊建築設計センター(Langfang Home for Planners and Architects)は木製品と各種工法を前面に押し出した、3階建 2500㎡のハイブリッド構造。現地の建築家や開発計画士のセミナー等に利用されます。

革新性に投資

カナダ連邦政府は2011年7月、革新性と市場開発を主軸としたカナダ林産品の環境パフォーマンス強化に向けて5350万ドルを投じると発表しました。助成対象事業には、政府の林産品プログラムを通じ、紙パルプグリーン化(the Pulp and Paper Green Transformation Program (<http://cfs.nrcan.gc.ca/pages/231>))、変革技術研究(Transformative Technologies Research Program (<http://cfs.nrcan.gc.ca/pages/166>))、変革技術 -パイロット実証(Transformative Technologies - Pilot Scale Demonstration)、そして林産業変革投資(Investments in Forest Industry Transformation Program (<http://cfs.nrcan.gc.ca/pages/232>))などの7プロジェクトがあります。

セミナーで 革新的技術を奨励

カナダ林産品協会はカナダウッド・ジャパンと在日カナダ大使館の協力のもと、国際森林年記念として東京でクロスラミネーテッドティンバー(CLT)を含む革新的な木造工法の持つ可能性に関する1日セミナーを開催しました。

同セミナーは2011年9月のジャパンホームショー期間中に開催されたもので、新たな製品や工法の持つ市場性について複数の専門家が講演。すでに市場が確立されている場合でも、建築をより優れたものにし、効果的で環境に責任のある構造ソリューションに結実する可能性の高い新技術を紹介しました。

カナダ林産品協会のイザベル・デシャン広報担当バイスプレジデントは、カナダが責任ある林産品サプライヤーである理由の一端として「FPAC会員は最高の環境基準をもって森林の管理と保全に当たっている。私たちは社会から許可を得て操業しているのであり、だからこそ最高の基準に達してはならないことを認識している」と説明しています。

FPイノベーションズのクリス・ガストン市場経済担当国内リーダーは、集合住宅や非住宅建築における木材利用の機会を紹介し、「住宅も住宅以外の建築も進化しており、木材の利用法も変わる。高層の枠組壁工法や軸組工法、CLTといった新工法が可能性の限界を押し広げている。建物においても木のある生活という観点でも、革新をもたらす、木材資源の価値を高めるチャンスが存在している」と言います。

新たな構造材や工法、技術により、木材は最高6階までの住宅/非住宅建築にとってすばらしい選択肢となっているというガストン氏。「カナダのビルダーは100年以上に渡り、レンガと大断面材を組み合わせることで多層建築を造ってきました」

また多目的利用が可能な積層パネルで、構造材として、また断熱性や耐震性、遮音性にも非常に優れるCLTの大きな可能性についても触れ、「多くの市場で、様々な建物において、木材以外の建材と競争できることが実証されている」と述べました。

FPイノベーションズはピアレビュー済みの「CLTハンドブック」を作成しました。ウェブサイト(www.forintek.ca/public/Eng/E5-Pub_Software/4.special_pubs.html)でご注文いただけます。どうぞご利用ください。

ご存知でしたか。

クロスラミネーテッドティンバー(CLT)は工場製作のため精確。速く安全に、かつ廃棄物も少なく効率の良い施工が可能です。

カナダの多様な林産業

カナダの多様な林産業をより良く知っていただくための「カナダの森林は今」。アジア市場に展開する企業の担当者をご紹介しています。

ビスコース短繊維メーカーとして世界をリードするインドのAditya Birla Group。高品質の溶解木質パルプを求めていましたが、必要としていたものすべてがカナダ東部のニュー・ブランズウィック州にありました。

「ビスコース短繊維の需要は飛躍的に伸びている。当社のカナダ工場は今日の高速紡績機に欠かせない品質と強度を備えたパルプを生産しています」と語るのはAV GroupのShankar Ray社長CEO。AV GroupはAditya Birla Groupのパルプ事業部門子会社です。

カナダのパルプ生産の歴史は古く、だからこそ同社も技能を備えた人材をすぐに確保できました。紙パルプ分野ではトップクラスの研究/技術機関であるFPイノベーションズがAV Groupに研究支援を提供。工程上の問題を同定して解決策を進言し、工場の副産物をバイオエネルギーやバイオケミカルとして利用する可能性を探っています。

AV GroupはNackawicとAtholvilleにあるニュー・ブランズウィックの2パルプ工場を、衣類からリネン類まで様々な布地に用られるビスコース短繊維に必要な溶解パルプに転換。特別用途向けに非塩素繊維や抗菌繊維も生産しています。

生産されたビスコース短繊維の一部はAditya Birla Group内のテキスタイル生産に使われていますが、AV Groupは信頼できるサプライヤとして、世界中のビスコース短繊維ユーザと長期に渡って取引を続けていると、Ray社長は説明します。

AV Groupはまた、カナダとニュー・ブランズウィックに深く根を下ろす方針です。「環境と安全が最優先」とRay氏。「伐採するだけではなく、森林再生も行い、持続可能なビジネスを目指しています」

近刊

カナダ森林局が「The State of Canada's Forests 2011」を刊行。カナダの森林と林産業の1年を振り返るとともに、カナダ全国および州/準州の統計、持続可能な森林管理を示す指標の一例、各地の森林の状況に関する最新情報などを掲載しています。<http://cfs.nrcan.gc.ca/publications?id=32683>

林産業革新投資公社(FII)は下記に、BC州におけるクロスラミネーテッドティンバー(CLT)の事例研究をポストしました。CLTを主要建材として使用したBC州初の本格的住宅であるウエストバンクーバーのDowling邸を取り上げています。www.naturallywood.com/sites/default/files/CLT-and-Dowling-Residence.pdf

新たな情報源

カナダの木材、紙パルプ製品の特長をご紹介しますFeel-Goodウェブサイトが、英、日、中、韓、仏、独、伊、西の8カ国語で閲覧可能となりました。サイト管理はFPACが行っています。<http://feel-good.ca>

Feel-Goodウェブサイトの1時間ウェビナー「Chain-of-Custody Certification for Forest Products」は役立つ情報が満載。CoCとは何のことであり、どのような価値があるのか、またその種類と導入の手順を説明しています。<http://feel-good.ca/index.php/en/video-permalinks/152>

同じくFeel-Goodウェブサイトの4分間のビデオ「The Footprint of the Canadian Forest industry」はカナダが高品質かつ責任ある林産品サプライヤのリーダーたる理由を検証しています。<http://feel-good.ca/index.php/en/video-permalinks/156>

reTHINK WOODは北米の林産業と官民の森林所有者の協同イニシアチブ。建築における木の活用について、ユーザだけではなく互いの啓蒙を目指しています。<http://www.rethinkwood.com/>

カナダの林産業は今

「カナダの林産業は今」は、国内林産業界を幅広く取り上げており、アジア市場で活躍する企業の皆さまからのご意見を募っています。発行は年3回で、建築や紙製品の原材料をカナダから調達しようとお考えのアジアのバイヤーや施工業者の皆さまに森林、施業、製品に関する情報をお届けする情報誌です。ご意見やご要望は Ottawa@fpac.ca までお寄せください。

詳細はカナダウッドのウェブサイト www.canadawood.org、または最寄りのカナダウッド事務所までお問い合わせください。

中国 上海事務所: 86-21-5030-1126 北京事務所: 86-10-59251255

日本 東京事務所: 81-3-5401-0531 韓国 ソウル事務所: 82-2-3445-3835/4

カナダ林産業に関する詳細は下記をご覧ください。

カナダ林産品協会(www.fpac.ca)はカナダの木製品、紙パルプの大手生産業者が加盟しており、ウェブサイトでは持続可能な林産品調達方針を策定する上で参考となる「カナダの持続可能な林産品 - お客さまガイド」をはじめ、豊富な情報を提供しています。



カナダの林産業は今・2012年1月

カナダ林産業は次の5大原則を厳守し、責任ある林産品バイヤーの皆さまの高い意識にお応えしています。

1. 違法伐採に反対
2. 速やかな森林再生
3. リデュース/リカバリ/リサイクルの実践
4. CO2削減と温暖化の緩和
5. 第三者機関の厳しい目を歓迎